

# 箱崎まちづくり新聞

発行者：箱崎まちづくり委員会  
電話 651-7708  
(箱崎公民館)

## 「道路愛称標識」が設置されました！

「ふれあい通り」や「箱小通り」など校区で愛称を募集し決定した道路愛称名(右図)について、東区道路愛称プロジェクト事業(地域で名付けた道路愛称を区長が承認することで区役所が設置する制度)に応募していました道路愛称標識が、このほど設置されました。皆様、新しい道路愛称で呼んでください。

標識は、箱小通り 6本 ふれあい通り 6本  
網屋松原通り 6本 箱崎新道 7本 です。



## ♪第7回オータムコンサート♪

11月3日(日)文化の日 19時から箱崎公民館講堂において、九州交響楽団メンバーによる「オータムコンサート」を開催しました。会場の公民館中庭には、「灯明」で公民館60周年を祝う演出をしました。

今回は、弦楽四重奏にフルートを加えての演奏を主体に、ビオラ奏者の山下さんとフルート奏者の永田さんの楽しいダブル司会で進められました。演奏曲は、モーツァルト「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」、ハイドン・ベートーベン・ファルカシュ



それぞれの「セレナード」、ハイドリッヒ「ハッピーバースデー」、ドビュッシー「亜麻色の髪の乙女」「小組曲」より小舟にてのほか、中田喜直「小さい秋みつけた」、文部省唱歌「虫の声」、ディズニー「星に願いを」、平原綾香「ジュピター」の名曲を熱演して頂きました。アンコールは「情熱大陸」で、クラシックから唱歌まで会場いっぱい120人以上の校区の方々には秋のひとときを楽しんでいただけたと思います。



今年も11月3日の文化の日で開催する予定です。

# クリスマスイルミネーション&イブイブ祭



毎年恒例のイルミネーション、箱崎会館と箱崎公民館の2ヶ所に飾り付けを行いました。青と白のLEDが師走の夜の箱崎の賑わいを演出しました。



12月23日(水)は、箱崎公民館前にてクリスマスイブイブ祭を行いました。当日は、真冬の寒波直撃で、クリスマスらしく小雪が散るなか、エレクトーン

の演奏や松翠保育園の園児たちのかわいい歌声が披露されました。今年もサンタクロースが出現し子供達にプレゼントを渡し子供たちは大喜びでした。また、寒い中、お集まりいただいた保護者や地域の方々にも手作りの豚汁をふるまい、クリスマス直前の楽しいひと時を過ごしていただきました。



その後、特別出演の副島東区長グループによる、サクソとボーカルによる「ジャズコンサート」が、プロレベルの演奏で、大人の雰囲気



## まちづくり委員会研修報告

○箱崎歴史案内研修 第1回(平成24年12月9日) 第2回(平成25年3月24日)



昨年4月に散策ガイドマップ「箱崎そうつく」を作成しました。この「そうつく」マップをもとに校区住民や観光客に箱崎の名所、旧跡をご案内、説明できるよう、地下鉄箱崎宮前駅からのオススメ「そうつくコース」に沿って吉村副会長に実際に説明を受けながらの研修を行いました。

[網屋天神(焼けずの観音)]

○地域活性化取り組み視察 平成25年3月16日・17日

◇鰻絵による地域おこし(下関市豊浦町室津)



100年前の文化財である鰻絵を後生に伝え保存していく取り組み。現在も漁村12軒の外壁に鳳凰、龍、牛若丸、浦島太郎、大黒・恵比寿などの壁絵が、色鮮かに残っていました。予約すれば地元のボラン



[浦島太郎]

ティアガイドが案内されます。[下関市景観賞受賞]

◇歴史的遺跡を活用したまちの景観保存及び案内表示(下関市長府町、萩市)

\*長府は、長府毛利藩5万石の城下町として栄え、幕末には維新回天の舞台となった町。城下町の趣を色濃く残す、歴史の香り豊かな町の顔を見せています。古江小路、横枕小路など



ゆかしい名前が町名に残り、案内表示も随所に設置されている。

\*萩は、江戸時代に形成された町割や街路、武家屋敷や町家などが多く連続して存在しています。「日本の道100選」に選定された城下町ならではの景色が残る菊屋横町、江戸屋横町など白いなまこ壁の美しい



横町や風情豊かな景色が続く黒板壁が連なる横丁と往時の面影をとどめている。

# 「九州大学キャンパス跡地利用将来ビジョン」について

九州大学の移転に伴う箱崎キャンパス跡地の計画的なまちづくりと円滑な跡地処分に向けて、その基本的な枠組みを示すために設置された「箱崎キャンパス跡地利用将来ビジョン検討委員会(出口委員長)」は、将来ビジョンをとりまとめ、平成25年2月19日高島福岡市長と有川九大総長に提言しました。

提言書を受け取った高島市長は「地元と対話しながら、できるだけ早くビジョンに基づいた街づくりをしたい」、また、有川総長は「提言をふまえて、国、地域、経済界と連携し跡地処分にしっかり取り組みたい」と話していました。

「九州大学箱崎キャンパス跡地利用将来ビジョン検討委員会」は、箱崎校区をはじめ地元代表者、有識者で構成され、昨年3月より12月まで計5回に亘り、議論、検討を重ねてきました。

検討委員会では、箱崎キャンパスの跡地利用が、箱崎地区のみならず、福岡市および福岡都市圏の今後の発展にとっても極めて重要な課題であること、また、箱崎千年の歴史を大切にしながら、このまちの発展に貢献してこられた方々の思いを受け継ぎ、未来の若者達に繋いでいけるような、百年後の未来に誇れるまちをつくりたいとの思いで検討を進めて参りました。

将来ビジョンのとりまとめに当たっては、箱崎キャンパス跡地が担う役割を議論し、市民意見を募った上で、5つのまちづくりの方針を策定しました。このまちづくりの方針から導き出される導入機能、土地利用、都市基盤整備及び空間整備の考え方を検討し、将来構想を導き出しました。



以下、跡地利用将来ビジョン【概要版】より抜粋です。

## ■まちづくりの方針

### 方針、1

#### 福岡市の持続的な成長に資する 新たな活力・交流を生み出す

福岡都心部に近い大規模な土地利用が可能な土地であり、交通利便性の高い立地特性を生かしながら、福岡市の持続的な成長に貢献する、新たな活力・交流を生み出すまちを目指します。

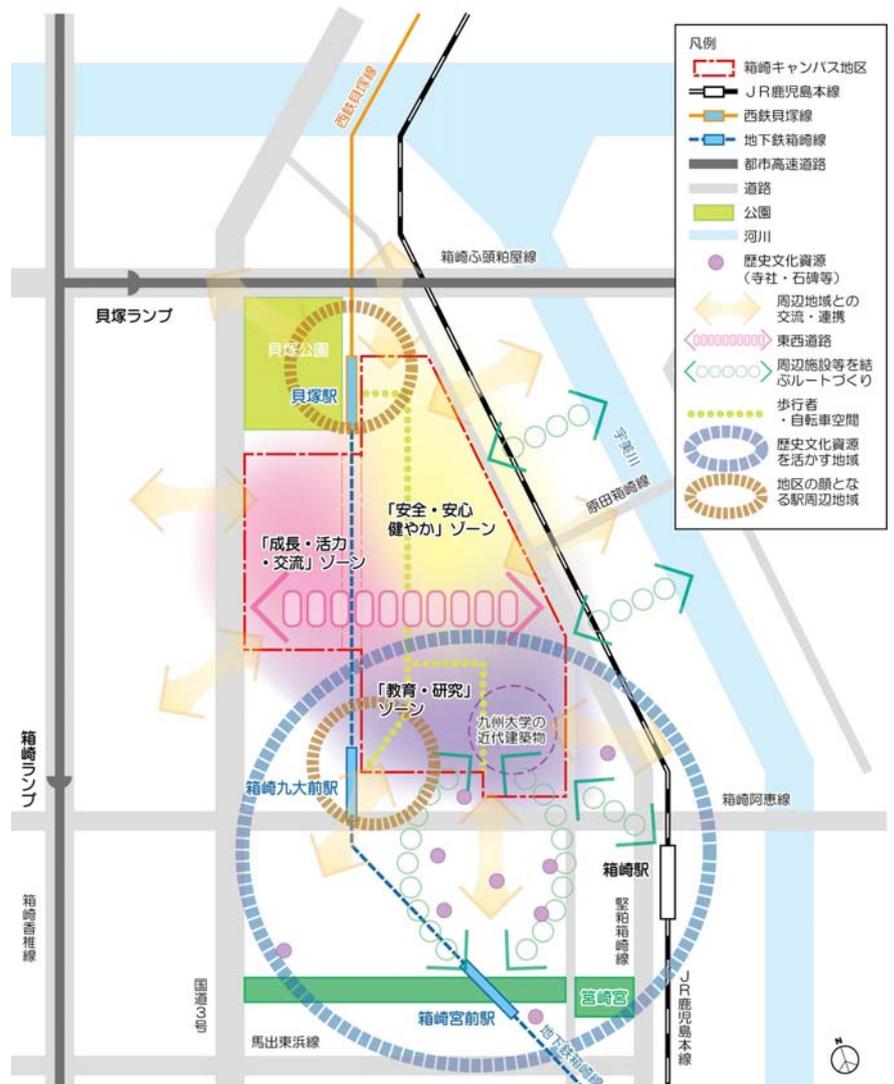
【導入機能】(1)新たな産業・雇用の場の創出(2)立地特性を生かした広域連携拠点づくり(3)文化・スポーツ・コンベンションを通じた交流と賑わいの創出

### 方針、2

#### 九州大学が存在した地として 充実した教育・研究の環境を生みだし、人を育てる

「九州大学」が百年存在した地としてのブランドを生かしながら、充実した教育・研究の環境を生み出し、人を育てるまちを目指します。

【導入機能】(1)新たな教育・研究機関の導入(2)これまでの外国人留学生、研究者等の受け入れ環境の活用



### 方針、3 高度医療施設の立地や高い利便性を生かして 安全・安心・快適で健やかに暮らす

災害に強い地理的条件を生かすとともに、周辺の高度医療施設や生活利便施設の集積、交通アクセスの良さなどの高い利便性を生かして、だれもが安全・安心・快適で健やかに暮らすことができるまちを目指します。

【導入機能】(1)災害に対応できる防災活動の場の創出 (2)九州大学病院等の立地を生かした医療・福祉・健康づくり環境の充実 (3)交通アクセス性などのポテンシャルを生かした快適な居住環境の創出

### 方針、4 千年のまち、大学百年の 歴史文化資源を大切に

千年以上の歴史を誇る筥崎宮や旧箱崎宿の町家、百年の時を刻んだ箱崎キャンパスなど、箱崎のまち全体が有する「まちの生い立ちの継承」「九州大学の近代建築物の活用の検討」を進め、歴史文化資源を大切にすまちを目指します。

【導入機能】(1)周辺の歴史文化資源と連携するなど、まちの生い立ちを継承 (2)九州大学の歴史文化資源の活用

### 方針、5 次世代の環境技術と豊かな緑を生かして 環境と共生し、持続可能なまちをつくる

地域の貴重な緑の空間であるキャンパス内の既存樹木を生かすとともに、九州大学の先進的な環境技術を活用し、「低炭素」で「水や資源を生かした循環型社会の形成」や「緑・水辺との共生」を進め、環境と共生し、持続可能なまちの形成を目指します。

【導入機能】(1)低炭素なまちの創造 (2)水や資源を生かすまちの創造 (3)箱崎キャンパスとその周辺にある緑・水辺と共生するまちの創造

## ■都市基盤整備の考え方

### 1. まち全体の交通利便性を高める

箱崎キャンパス地区とその周辺を含むまち全体の交通利便性の向上 等

### 2. 既存施設・周辺魅力資源を活かす

箱崎キャンパス内の緑地等の既存環境や筥崎宮等の歴史文化資源など、周辺に立地する魅力資源の活用

### 3. 活動の豊かさや安全性を向上させる

箱崎キャンパスで新たに始まる生活・活動の豊かさや安全性の向上 ・だれもが安全・安心に生活・活動するための、都市基盤整備におけるユニバーサルデザイン

## ■跡地利用(処分)の考え方

### 1. 将来ビジョンを踏まえた跡地利用

＜跡地全体について、一体感のあるまちづくりの推進＞

移転後の速やかな跡地利用のため、段階的な土地利用の転換を図る場合においても、全体として一体感を創出すまちづくりを推進する。

＜周辺地域との調和・連携＞

箱崎キャンパス周辺の市街地や歴史資源、交通施設等の立地状況などの地域特性を踏まえ、周辺地域と調和・連携し、一体的に発展できる跡地利用を誘導する。

### 2. 九州大学の統合移転事業を踏まえた跡地処分

・「箱崎キャンパス跡地等の処分収入で伊都キャンパスの施設整備費を賄う」という九州大学統合移転事業の原則を踏まえて跡地処分を進める。

・九州大学の統合移転スケジュールを踏まえて計画的な跡地処分を進めつつ、まちの活力低下を最小限にするため、各地区の移転後は速やかな跡地利用を促進する。

